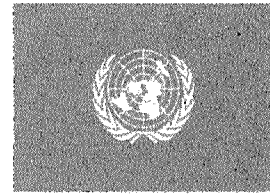


第4回 藤田早苗さん報告会

国連の勧告も受け入れずー
だいじょうぶ？



国際連合の旗

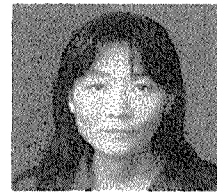
日本の「表現の自由」と「メディア」

5月18日(金)18:30~

横浜市開港記念会館 6号室

JR 関内駅東口から徒歩10分 みなとみらい線日本大通り駅 番出口から1分

資料代700円(学生無料)



藤田早苗さん 英国エセックス大学
人権センターフェロー。英国在住。

今年3月、日本は国連人権委員会の理事国でありながら、国連人権理事会からの「報道の独立性」に関する勧告を拒否しました。

昨年、共謀罪が強行採決されて以来、日本のメディアには、政府に忖度するような歯がゆい報道がより多く見受けられます。

「特定秘密保護法」の問題点のひとつとして国連特別報告者から「ジャーナリストにも重大な刑罰が科される危険性がある」との指摘が出されている中、朝日新聞（3月2日付）の森友文書改ざんスクープは、メディアが本来あるべき役割を果たしたと言えます。

しかし、同じ頃、規制緩和で新規参入を促し、政治的公平は撤廃する方針などが含まれる『放送制度改革の方針案』を安倍政権が検討していることが明らかになりましたが、採り上げるメディアはほとんどありません。

このように「表現の自由」が政治権力によって私物化され、歪められている昨今、いち早く秘密保護法案や共謀罪法案を英訳して国連人権委員会に通報し、国際社会に日本の人権状況の問題点を情報提供し続けている藤田早苗さんに、改憲案への懸念も含め、最新の情報をお話しいたします。また、BBCなどの動画や海外メディアの報道も用いて、「権力の監視役」としてのメディアの役割や、英国の政治や制度に関することもご紹介いたします。

主催：ストップ秘密保護法かながわ

Facebook: www.facebook.com/himikana/ Blog: <https://himikana.wordpress.com>

Mail: himikana2016@gmail.com

連絡先：090-5433-6464 090-3698-1125